

JMLA 九州・沖縄地区会及び九州・沖縄 EBM 勉強会開催報告

主催者：JMLA 九州・沖縄地区会及び九州・沖縄 EBM 勉強会

開催日：2021 年 7 月 10 日（土）2 時間 13:00～15:30（終了後 30 分程度オンライン交流会）

開催形式：Zoom によるオンラインセミナー（配信拠点：久留米大学医学図書館グループ学修室）

参加人数：55 名

参加費用：1,000 円

開催内容：別紙プログラムの通り

開催報告：

九州・沖縄 EBM 勉強会・第 2 回研修会

- （1）テーマ：オープンアクセス・ジャーナル（OAJ）をめぐる話題
- （2）講師：佐藤正恵氏
- （3）内容：

第 1 回目に引き続き、講師に佐藤正恵氏をお迎えし、前半は OAJ の歴史や世界的な動向、事前質問にも多かった投稿先の選定やハゲタカジャーナルの見分け方について、後半は、今後の図書館としての役割とデータ・マネジメント等について解説があった。講師から、図書館員も経営的視点を持ち、時代に即した役割を意識することの重要性等が述べられた。

話題的に内容が多岐にわたることが予想されたため、参加申し込み時に、オープンアクセス・ジャーナルに関する質問・レファレンス対応で困ったことの記入欄を設けたところ、想定以上の多くの質問が寄せられたため、講義の中で解説をお願いするとともに、質問の公開の可否について各質問者には個別で問い合わせ、賛同を得られたものについては、講師の解説を別途事前公開した。

共有資料として、講演資料、事前質問回答に加え、講師からの発案で講師作成の OAJ 用語集を Excel で提供していただき各自更新をして使用することも推奨された。後日、研修会の録画資料も追加した。

研修会終了後のオンライン交流会には 15 名の参加があり、受講後の感想や担当業務、活動等について情報共有した。

なお、Zoom のログによる研修会参加時間、研修会後のアンケート提出、研修会中に提示したキーワード（2 問）の回答、郵便振込みによる参加費の支払いによって本研修会に参加とみなした。

研修会後のアンケートでは、コロナ禍で研修会自体が少なくなっているため参加できて良かった、オンラインだったので遠方から参加ができた等、開催自体に好意的な回答が多く寄せられた。また講師の提言に刺激を受けたという声も多数見られた。アンケート提出のあった 52 名のうち、上記の参加条件を満たし、かつ希望があった 46 名に参加証明書を発行した。

参加者のうち約 6 割の 35 名が第 1 回研修会を受講しており、今後も継続して受講されるような研修会を目指し運営を行っていききたい。

（報告者：久留米大学医学図書館 平山 紀子）